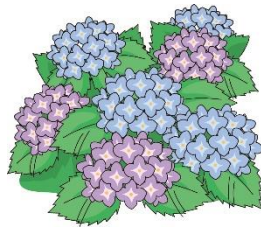




みどりの丘

緑の『街』が見つめる医療



ひざの痛みを知る、治す、予防する

整形外科
スポーツ関節鏡グループ
原 口 貴 久

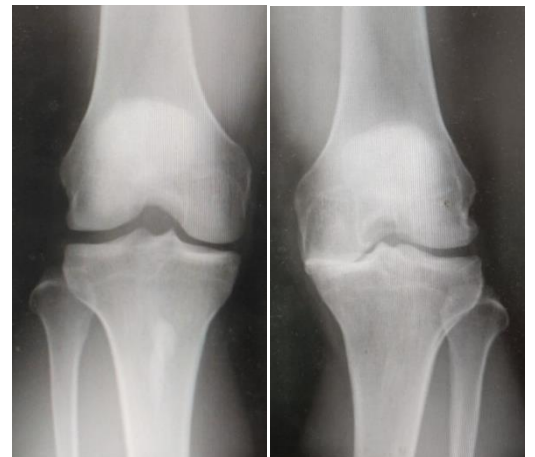
～こどもから大人まで、人生を明るく、健やかにするためのスポーツ医学～

日本人が整形外科を受診される理由の第 2 位として、ひざの痛みがあります。その原因として最も多いのが、「変形性膝関節症」であり、40 代から少しずつ症状を認める方もおり、50 歳以上の 1000 万人が「変形性膝関節症」によるひざの痛みを経験すると言われています。

また、ひざの痛みの原因として、スポーツ障害である「前十字靭帯損傷」や、「半月板損傷」、「軟骨損傷」なども挙げられます。これらのスポーツ障害は時に見逃されることもあり、早期に適切な治療を行わないと、「変形性膝関節症」を引き起こす原因となるため、注意が必要です。

そして、10 代のお子様のひざの痛みの原因として、「オスグット病」や、「ジャンパー膝」などのオーバーユース症候群、別名使いすぎ症候群と言われる障害もあります。筋肉や靭帯の付着部に生理的許容範囲を超えた負荷がかかることで、微細な損傷を起こした状態であり、十分な修復期間（休養）をとらずに繰り返しの負荷をかけることで慢性的な障害になると言われています。

当院ではこどもから大人まで起こりうる様々なひざの痛みに対して、スポーツ医学の視点から診察及び画像診断を行っています。痛みの原因を評価した上で、投薬加療だけではなく、運動療法の指導や、装具療法（サポーターやインソールなど）による保存療法の提案や、手術が必要な方には関節鏡を用いた負担の少ない手術も多く行っております。痛みの原因を理解することから治療は始まります。成長期のスポーツ障害から、成人の変形性膝関節症まで、スポーツ医学を通して治療、予防をしましょう。ひざの痛みでお困りの方は是非一度ご来院いただければと思います。



(前十字靭帯損傷 未治療による変形性膝関節症例)

マスク着用にご協力ください



新型コロナウイルス感染
予防対策実施中！

